

平成23年度
富士見が丘地区
地域福祉保健計画

近所どうして助け合い 安全・安心・快適なまちづくり

富士見が丘地区では、連合自治会や地区社会福祉協議会をはじめとする福祉、保健等の関係団体、施設などの代表で構成する「富士見が丘地区地域福祉保健計画推進委員会」が、意見を出し合い、地域福祉保健計画の実現を目指して活動をしています。



富士見が丘地区の第2期地域福祉保健計画（平成22年度～27年度）では、

- 高齢者が生きがいをもてるまちにしよう！
- 地域の中で「障がい」に対する理解を深めよう！
- 身近な場所で健康づくりを進めよう！
- 地域で子育てを応援しよう！
- 要援護者支援の体制づくりを進めよう！ を目標にしています。

平成23年度は下記の活動を重点に進めます。

1 福祉保健活動予定表(カレンダー)を作成します。(PR)

- ・ 地区内の団体の主なイベントや活動スケジュールをひとつに取りまとめ、カレンダー形式で表示し、参加団体、施設に配布します。
- ・ 活動団体を紹介するパンフレット集とこのカレンダーを併用することにより、地区内での様々な活動をわかりやすくするとともに、新たな活動日程を立てやすくします。

2 団体同士の交流を深めます。(交流)

- ・ 子育てをはじめ、高齢者、障がいのある人への支援、健康づくりなど、支援対象者や支援者が世代を超えて交流する機会をつくります。
- ・ 交流部会のメンバーが団体を訪問取材し、インタビューレポートを作成します。

3 高齢者等の介護をしている人達が集う機会をつくります。(介護者支援)

- ・ 寝たきりや認知症の高齢者等を介護している人に、日ごろの疲れを癒し、同じ悩みや経験を持つ人と交流することで介護の励みにしていただくためのつどいを開催します。

4 福祉保健活動の担い手として多くの人の参加を求めます。(参加)

- ・ 地区経営委員会が進めている、災害時要援護者支援体制の確立に取り組めます。要援護者の把握に努め、支援者として多くの人が参加できるよう登録者を増やします。
- ・ 学校と連携し、小・中学生が地区内の福祉保健活動に参加する機会を増やします。

泉区役所・泉区社会福祉協議会・下和泉地域ケアプラザは、地区の福祉保健活動を支援します。